



- 障害者のための作業所を紹介(2面)
- 平成15年度決算の概要(4・5面)
- バランスシートで分かる市の財政状況(6面)
- みんなの健康(7面)
- キャンプ座間米軍移転反対の行動(8面)

年末年始の準備は済みましたか

いよいよあと2週間あまりで平成16年も終わります。市民の皆さんには、今年も市政全般にわたりご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

年末年始は、公共施設の開業日やごみの収集日など、市の各種業務の日程が平常とは異なりますのでご注意ください。

来たる新年が、皆さんにとって輝かしい年となることをお祈りします。

(○印は開業日)

施設名	12月					1月		
	25日(土)	26日(日)	27日(月)	28日(火)	29日(水) 31日(金)	1日(土) 3日(月)	4日(火)	5日(水)
市役所・各出張所			○	○			○	○
各コミュニティセンター	○	○	○	○			○	○
サニープレイス座間(総合福祉センター)	○	○	○	○			○	○
各児童館	○	○	○	○			○	○
市民健康センター(保健部門)	○	○	○	○			○	○
市公民館、北・東地区文化センター	○	○					○	○
ハーモニーホール座間(市民文化会館)	○	○						○
青少年センター	○	○						○
ひまわり公園テニスコート	○	○	○	○			○	○
栗原遊水地テニスコート	○	○	○					○
スカイアリーナ座間(市民体育館)	○	○						○
図書館	○	○		○			○	○
生きがいセンター	○	○	○	○			○	○
リサイクルプラザ	○	○		○			○	○
大和斎場※	○	○	○	○	○		○	○

※31日は火葬と告別式のみ。1月4日は火葬と通夜のみです。予約は通常どおり24時間電話対応します。

年末年始の

公共施設業務日程

年末年始の公共施設業務日程は、右表のとおりです。市役所では閉庁中、戸籍に関する届け出の預かり、埋火葬許可証の発行以外の業務は行いません。

なお、住民票等自動交付機も、12月29日(水)から平成17年1月3日(月)まで利用できませんので、ご注意ください(下記参照)。

市役所閉庁中のお問い合わせは

☎046(255)1111へ

※年末年始の休日・夜間診療に関しては、本紙7面をご覧ください。

年末年始の

「資源物、ごみ、し尿・生活排水」の収集日程

★日程を確かめて
正しく
出しましょう★



年末年始の「資源物、ごみ、し尿・生活排水」の収集日程は、下表のとおりです。

年末は、大掃除や正月の準備などで家庭から出るごみの量が増えます。また、慌ただしさから、分別方法や収集日の間違いが増えます。大掃除などで出た不用物は正しく分別し、収集日の朝8時30分までにしましょう。

一年のうちで、ごみが最も増えるこの時期。引き続きごみの減量化、資源化にご協力をお願いします。

※木の枝を出す場合は、必ず太さを10センチメートル以下にし、ひもなどで結ばずに、透明・半透明の袋に入れて燃えるごみに出してください。

※12月23日(木)および平成17年1月10日(月)は祝日ですが、それぞれ「燃えないごみ」「缶、瓶、紙、布」は収集します。

担当

資源対策課 ☎046(252)7659 FAX046(252)7616

地区	燃えるごみ	缶、瓶、紙、布	ペットボトル	プラスチック製容器包装	燃えないごみ	し尿	生活排水
相模が丘	12月30日(木)	12月15日(水) 1月5日(水)	12月24日(金) 1月7日(金)	12月28日(火) 1月11日(火)	12月22日(水) 1月26日(水)	12月28日(火)	12月30日(木)
ひばりが丘、小松原、広野台、さがみ野	1月6日(木)	12月17日(金) 1月7日(金)	12月29日(水) 1月12日(水)		12月24日(金) 1月28日(金)		
栗原中央、南栗原、西栗原、東原	12月29日(水)	12月16日(木) 1月6日(木)	12月24日(金)		12月23日(木) 1月27日(木)		
立野台、入谷	1月5日(水)	12月21日(火) 1月4日(火)	1月7日(金)	12月30日(木)	12月28日(火) 1月25日(火)	1月4日(火)	1月4日(火)
座間、新田宿、四ッ谷、明王、緑ヶ丘、相武台、栗原	12月28日(火) 1月4日(火)	12月20日(月) 1月10日(月)	12月29日(水) 1月12日(水)	1月13日(木)	12月27日(月) 1月31日(月)		

※上段(黒字)は年末最終の収集日、下段(赤字)は年始最初の収集日

住民票等自動交付機利用停止のお知らせ

12月29日(水)～平成17年1月3日(月)は年末年始のため、また平成17年1月8日(土)は庁舎内電気設備定期点検のため、自動交付機の利用ができません。ご不便をお掛けしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

※自動交付機の利用時間は、午前8時30分～午後5時です。

担当 市民課 ☎046(252)8083 FAX046(255)3550

漏水を発見したらご連絡を！

年末年始も対応します。道路上で漏水を見つけたら下記の電話番号へ

座間市管工事業協同組合

フリーダイヤル

☎0120-015244

※宅地内(止水栓から蛇口)の修理は有料です。水道工事店または上記の電話番号に連絡してください。

担当 水道部工務課 ☎046(252)7519 FAX046(257)4155

皆さん 年末年始は笑顔で迎えましょう

火は消した？ いつも心に 聞いてみて

12月25日～31日は歳末火災特別警戒

年末は何かと忙しく、火の使用中でも注意がおろそかになりがちです。

消防本部、消防署および消防団では、火災を予防し明るい新年が迎えられるよう、立野台女性消防隊などの協力を得て、市内全域で「歳末火災特別警戒」を実施します。期間中は、大型小売店舗などの特別査察をはじめ、各種広報活動や特別巡視などを実施します。

電話の対応などで火の元を離れることや、ガスレンジの消し忘れなどによる火災が発生しています。次のことなどを心掛けて、火災を未然に防ぎましょう。

○寝たばこやたばこの投げ捨てはやめましょう。

○マッチやライターは、子どもの手の届かない場所に保管しましょう。

○たき火は火災予防だけでなく、環境保全のためにもなるべくやめましょう。

○家の周りには燃えやすい物を置かないようにしましょう。

○風呂を空だきしないよう、水の量を確認しましょう。

○ストーブに燃えやすい物を近づけないようにしましょう。

担当 消防署管理室 ☎046(256)2211 FAX046(256)2215



ZAMAHOTLINE

作業所	作業所からのアピール文	所在地	電話番号
いぶき (知的)	23人の仲間が通う比較的規模の大きい作業所です。主な活動には、ふきん・ぞうきん・アームバンド・マグネットなどの製作、土産物品のシール張りなどの作業、社会見学、各種行事への参加があります。	小松原 1－45－21 生きがいセンター内	☎046(253)0835
えのきの里 (知的)	知的ハンディのある12人の皆さんが通っています。作業には、牛乳パックからのはがき作り・さをり織り・陶芸・軽作業受注の仕事などがあります。なるべく利用者の好きな作業を選んで取り組んでいます。	相模が丘 5－39－14	☎042(743)4234
おおきの里 (知的)	家庭的な雰囲気の中、楽しく和気あいあいと各自の適性に合った作業をしています。現在、栗原に新しい作業所を建設中で、来年春の完成を皆で待ち望んでいます。新しい仲間大歓迎！ピカピカの作業所で一緒に働きませんか。	緑ヶ丘 3－26－12	☎046(255)5583
かざぐるま (知的)	今年の4月にNPO法人障建会が開設した作業所です。11人のメンバーと5人のスタッフおよびボランティアで運営しています。日用品やアクセサリーを製作したり、100坪の農園を借りて野菜を作ったりしています。	緑ヶ丘 4－8－29	☎046(253)3796
緑の家第2 (知的)	私たちの作業所は、さまざまな障害のある人たちが、働くことを通して社会参加をしていく場所でありたいと願っています。主な仕事として、アロマキャンドル製作・ビーズの製作・農作業・受注作業などを行っています。	東原 1－9－65	☎046(251)1596
緑の家第3 (身体)	受注作業と自主製品（ステンシル製品）を中心とした作業をしています。余暇活動にも力を入れ、スポーツではローリングバレーボールの練習・試合を定期的に行っています。	栗原中央 5－1－45	☎046(257)1858
ウィンディザマ (精神)	心の病気のある人たちが、地域の中で自分らしく生きていくため、クッキーや食事作り・スポーツ・文化活動を通して心を休め、仲間づくりをし、生活のリズムを整えていく場としています。	入谷 4－2900－7	☎046(252)5117

市内には、障害者（知的・身体・精神）が利用できる作業所が七カ所あり、それぞれが作業所の個性を生かした活動を行っています。障害者が利用できる社会資源の一つとして紹介するとともに、各作業所からのアピール文を掲載します。

担当 障害福祉課
☎046(252)7132
FAX046(252)7043

ご利用相談については、担当までご連絡ください。

障害者のための作業所を紹介

民生委員児童委員が改選

地域福祉の向上のため、市民の皆さんと市とのパイプ役として活動している民生委員児童委員が改選され、去る十二月三日に委嘱式が行われました。委嘱を受けた委員は、再任も含め全員で百四十四人、任期は三年です。

担当 社会福祉課
☎046(252)7122
FAX046(252)3600

地域の皆さんの福祉に関する相談役として、悩み事や心配事などの相談をお受けします。相談内容や個人の秘密は堅く守られますので、お気軽にご相談ください。

なお、お住まいの地域の委員については、担当にお問い合わせください。

公共下水道工事

公共下水道は、河川の水質改善や水環境の保全に必要な役割を果たします。しかし、その効果を十分に発揮するためには、皆さんの公共下水道への接続が欠かせません。公共下水道の供用を開始している地域で、まだ公共下水道に接続していない世帯の方は、早期接続にご協力ください。

市では、公共下水道の供用開始から三年以内に、接続のための排水設備工事を

担当 下水道管理課
☎046(252)8541
FAX046(252)3550

貸付金制度のご利用を！

公共下水道は、河川の水質改善や水環境の保全に必要な役割を果たします。しかし、その効果を十分に発揮するためには、皆さんの公共下水道への接続が欠かせません。公共下水道の供用を開始している地域で、まだ公共下水道に接続していない世帯の方は、早期接続にご協力ください。

市では、公共下水道の供用開始から三年以内に、接続のための排水設備工事を

担当 下水道管理課
☎046(252)8541
FAX046(252)3550

金融機関	支店	電話番号
横浜銀行	座間支店	☎046(252)1111
	相模台支店	☎042(744)1231
	座間駅前支店	☎046(251)5151
平塚信用金庫	座間支店	☎046(254)6111
	ひばりが丘支店	☎046(256)1110
	相模台支店	☎042(744)1331
中央労働金庫	座間支店	☎046(255)1155
城南信用金庫	相武台支店	☎046(255)1241
JAさがみ	座間支店	☎046(251)0033
	栗原支店	☎046(253)1733
八千代銀行	南林間支店	☎046(274)7771
	相武台支店	☎046(254)9111

※横浜銀行での融資手続きは、相模大野支店で実施します。

母子家庭などに福祉資金を貸し付けています

母子・寡婦・父母のいない家庭などの子どもが安心して修学できるよう、無利子で修学資金、就学支度資金などを貸し付けています。

平成17年3月末までに貸し付けを希望する方は、2月22日（火）までに申請をしてください。申請はこの日以降でも常時受け付けていますが、貸し付けは4月以降になります。

○修学資金 高等（専修を含む）学校、大学（短大を含む）、専門学校へ修学するために必要な資金（月額18,000円～63,000円）

○就学支度資金 小・中（非課税世帯）・高等（専修を含む）学校、大学（短大を含む）、専門学校の入学に必要な資金（39,500円～520,000円）

※上記二つの資金貸し付けには、申請時に合格通知が必要です。

このほかにも、就職支度資金をはじめ9種類の資金の貸付制度（無利子または年利3パーセント）があります。詳しくは担当にお問い合わせください。

担当 児童課 ☎046(252)7201 FAX046(252)7043

家屋を取り壊したときは連絡を

取り壊した家屋には、翌年度から固定資産税・都市計画税が課税されません。滅失登記や市への届け出をしていない方は、お早めにご連絡ください。

担当 資産税課 ☎046(252)8047 FAX046(255)3550

新潟県中越地震義援金の中間報告

○義援金累計額（12月3日現在）

2,732,820円

ご協力ありがとうございます。

担当 日赤座間市地区事務局（社会福祉課内）
☎046(252)7122 FAX046(256)3600

お役立ち情報満載！

ざまインフォメーション

市内の催しや行政情報などは、『ホームページ』<http://www.city.zama.kanagawa.jp/> でも案内しています。

12						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

案内

「防犯灯」異常に気付いたら
ご連絡を！

夜道を明るく照らす防犯灯は、安全な歩行の確保や犯罪の未然防止など、安全で快適なまちづくりに大きな役割を果たしています。

市内の防犯灯で、「夜になっても点灯しない」「ついたり消えたりしている」「昼間でも点灯している」などの異常がありましたら、故障内容と防犯灯の下に付いている赤色プレートの「防犯灯番号」を、早めに担当までご連絡ください。

担当 市民生活課
☎046(252)8218 ㊟046(255)3550

座間市
交通バリアフリー法基本構想
素案がまとまりました

市では、小田急線相武台前駅とその周辺を対象としたバリアフリー化に向けた改善策を取りまとめる「座間市交通バリアフリー法基本構想」の策定を、老人クラブ、障害者団体、ボランティア団体などの市民の皆さんおよび交通事業者などと一緒に進めています。このたび、基本構想の素案がまとまりましたので、これに対する皆さんのご意見を募集します。

○素案閲覧場所 市役所4階都市計画課(概要は市ホームページで閲覧可)

○意見提出方法 任意の用紙に住所、氏名、電話番号を記入の上、12月28日(火)までに〒228-8566市役所都市計画課あて郵送、またはファクスで担当へ

担当 都市計画課
☎046(252)7376 ㊟046(252)0220

危険物取扱者試験

○と き 平成17年2月20日(日)
○ところ 神奈川大学横浜キャンパス(横浜市神奈川区六角橋)
○試験の種類 甲種、乙種4類
○受験資格 乙種4類は制限なし
○申込方法 担当および東・北分署に備えてある申請書に必要事項を記入の上、12月16日(木)～平成17年1月20日(木)(当日消印有効)に申請書に記載されている申請先あて郵送

担当 消防本部予防課
☎046(256)2211 ㊟046(256)2215

危険物取扱者保安講習会

○と き 平成17年1月26日(水)～3月8日(火)(全30回)
○対 象 危険物施設で危険物の貯蔵取扱い作業に従事する次のいずれかに該当する方①免状の交付を受けた日から3年以内②前回の講習を受けた日から3年以内③危険物の取扱い作業に従事することになった日から1年以内
○受講料 4700円
○申込方法 担当および東・北分署に備えてある申請書に必要事項を記入の上、平成17年1月9日(日)までに郵送
※講習日や会場などは、担当にお問い合わせ

わせください。
担当 消防本部予防課
☎046(256)2211 ㊟046(256)2215

市内の交通事故件数			
1月1日～11月30日 (物件事故を含まず)			
	件数	死者	負傷者
16年	787	8	935
15年	819	2	973
増減	-32	+6	-38

市内の消防・救急車出動件数			
	消防車		救急車
	11月	1月～11月	11月 1月～11月
16年	21	209	369 3964
15年	17	180	363 3898
増減	+4	+29	+6 +66

催し

芸術文化セミナー
小林恵写真展「過ぎしかの日」
戦闘機『雷電』を造った
台湾少年たち

○と き 平成17年1月15日(土)～26日(水)(月曜日休館)午前9時30分～午後5時
○ところ ハーモニーホール座間
○内 容 高座海軍工廠の台湾少年工の現在を追った写真展(1月23日(日)午後1時30分～3時に小林さんによる写真トークあり)
○入 場 自由

担当 生涯学習課
☎046(252)8476 ㊟046(252)4311

常設展示室企画
高座海軍工廠の軌跡展Ⅱ

○と き 平成17年1月15日(土)～2月20日(日)午前9時30分～午後5時
○ところ ハーモニーホール座間
○内 容 昭和19年開設の高座海軍工廠の足跡を当時の写真で振り返る
○入 場 自由

担当 生涯学習課
☎046(252)8476 ㊟046(252)4311

北地区文化センター

☎042(747)3361 ㊟042(747)8542

◆パソコン入門講座

○と き ①平成17年1月16日②23日③30日いずれも日曜日午前9時30分～午後0時30分
○内 容 マウスの操作、文字入力、電子メールなどパソコンの基礎を学ぶ(協力=座間パソコンサポートクラブ)
○定 員 16人(多数抽選)
○対 象 市内在住・在勤のパソコン初心者で3日間出席できる方
○参加費 1000円(テキスト代)
○申込方法 12月26日(日)までに電話で同センターへ

東地区文化センター

☎046(253)0781 ㊟046(253)0789

◆ひがし子どもクリスマス会

○と き 12月25日(土)午前10時～正午
○内 容 サンタさんとうたおう、あや

せキッズコーラスの歌、ブラックシアター、大型紙芝居、人形劇、ピエロショー、手遊び、ゲームなど(小さなプレゼントあり)

○対 象 幼児(保護者同伴)～成人
○入 場 自由

◆新春卓球大会

○と き 平成17年1月8日(土)午後1時～4時
○内 容 レベルごとに試合をする
○対 象 小学生～成人
○定 員 30人(先着順)
○持ち物 ラケット(持っている人)、タオル、飲み物
○申込方法 1月5日(水)までに直接・電話・ファクスで同センターへ

青少年センター

☎046(253)8411 ㊟046(259)2163

◆盲導犬を知ろう!

○と き 平成17年1月30日(日)正午～午後4時30分
○ところ (財)日本盲導犬協会神奈川訓練センター(横浜市港北区)
○集合解散場所 青少年センター(往復は市のバスで移動)
○内 容 盲導犬使用者の体験談、体験歩行、犬との触れ合いほか
○対 象 小学4年生～高校生
○定 員 30人(多数抽選)
○参加費 無料
○持ち物 筆記用具
○申込方法 往復はがきに参加希望者の氏名・学年・住所・電話番号を記入し、「盲導犬を知ろう!」と明記の上、1月10日(月)(消印有効)までに〒228-0023立野台1-1-4青少年センターあて郵送(はがき1枚で二人まで)

◆親子で大道芸に挑戦!マジック入門

○と き 平成17年1月23日、2月13日いずれも日曜日午前10時～正午(全2回)
○内 容 身近な物を使ってマジックを楽しむ
○対 象 小学4年生～高校生とその保護者(子どもだけの参加も可)
○持ち物 新聞朝刊二日分、はさみまたはカッターナイフ
○参加費 200円(材料代)
○申込方法 往復はがきに参加希望者の氏名・学年・住所・電話番号を記入し、「マジック入門」と明記の上、1月10日(月)(消印有効)までに〒228-0023立野台1-1-4青少年センターあて郵送(はがき1枚で二人まで)

ハーモニーホール座間

☎046(255)1100 ㊟046(252)8787

◆天才てれびくんMAX スペシャルIN座間(公開録画)

○と き 平成17年1月30日(日)午後3時～4時45分(午後2時開場)
○出演者 TIM(ゴルゴ松本、レッド吉田)、てれび戦士ほか
○入場料 無料
○申込方法 官製往復はがきの「往信用裏面」に代表者の郵便番号・住所・電話番号、観覧希望者全員(最大4人まで)の氏名・年齢を記入、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を記入し、1月7日(金)までに必着で〒228-0021緑ヶ丘1-1-2ハーモニーホール座間「天才てれびくんMAX」公開係あて郵送

※応募多数の場合は抽選の上、入場整理券(1枚で4人入場可・1歳以上から一人)を送付。

※小学生以下の入場には要保護者同伴。
※申し込みは一人につき1通限り。

○問い合わせ先 NHK横浜放送局☎045(211)0418または同ホール

図書館

☎046(255)1211 ㊟046(252)5704

◆手作り絵本講習会

○と き 平成17年1月14日～2月25日の毎週金曜日(2月11日を除く)午前10時～正午(全6回)
○内 容 世界でたった1冊、自分だけの本を作る
○対 象 市内在住・在勤・在学者
○定 員 15人(先着順)
○参加費 1500円
○保 育 あり(要予約、1回100円)
○申込方法 直接・電話で同館へ

募集

◆平成17年4月からの市立保育園臨時・非常勤保育士

○募集職種 ①臨時保育士②非常勤保育士③非常勤保育士(週休対応保育士)
○応募資格 ①60歳以下の保育士資格所持者②③65歳以下の保育士資格所持者
○業務内容 市立保育園の保育業務
○勤務期間 ①平成17年4月から6カ月間(さらに6カ月間更新あり)②③平成17年4月から1年間
○勤務日時 ①原則、月曜～金曜日午前8時30分～午後5時、担当により土曜日(毎月1回程度、平日振替休)およびローテーション勤務あり(午前7時30分～午後4時・午前10時30分～午後7時)②原則、月曜～土曜日、早朝2時間と夕方2時間の4時間勤務(土曜日は5時間30分勤務で早朝または夕方)③原則、月曜・金曜・土曜日午前8時30分～午後5時(土曜日は午前7時30分～午後1時または午後1時～6時30分)
○応募方法 市販の履歴書(写真添付)に必要事項および希望職種を記入の上、1月21日(金)までに本人が直接担当に持参

担当 児童課
☎046(252)7202 ㊟046(252)7043

◆社協～配食サービス事業協力員

○応募資格 自動車または原動機付自転車を所有している方で、相模が丘地区に配食できる方
○業務内容 一人暮らし高齢者などへの夕食配達および安否確認など(1件につき270円の費用弁償あり)
○業務日時 月曜～金曜日午後4時～6時(週1～2回程度、登録制)
○応募方法 市販の履歴書(写真添付)に必要事項を記入の上、本人が直接担当に持参
※担当に電話連絡し、詳細を確認してください。

担当 市社会福祉協議会
☎046(266)2003 ㊟046(266)2009

平成15年度決算の状況（一般会計）

健康・福祉

健康づくりの推進	
母子保健の充実	4,999万円
成人・老人保健の充実	2億2,495万円
保健衛生の充実	
感染症対策の強化	1億2,320万円
医療体制の充実	
救急医療体制の充実	1億9,123万円
地域福祉の充実	
総合福祉センターの充実	3,613万円
保健・医療・福祉サービスのネットワーク整備	1億4,414万円

高齢者福祉の充実	
高齢者保健・福祉施設の整備	2億5,061万円
多様な在宅サービスの提供	1億5,825万円

障害者福祉の充実	
障害者援護施設などの整備・支援	4,271万円
療育・訓練施設の整備	6,795万円
治療・訓練体制の整備	3億6,520万円
介護・看護などの拡充	9,980万円
社会参加の促進	1億2,215万円

児童・母子等福祉の充実	
児童手当などの充実	4億513万円
生活支援の拡充	3億5,623万円
保育体制の整備	11億5,073万円

低所得者福祉の充実	
援護対策の充実	16億2,137万円

教育・文化

教育環境の整備	
学校施設の整備	7億5,437万円
学校給食の充実	1億2,282万円
教育活動の充実	

多様な教育の推進	1億4,045万円
情報教育の推進	9,209万円

生涯学習の推進	
学習活動の充実	1,176万円
公民館の整備・充実	9,667万円
図書館の整備・充実	9,543万円

市民文化の向上	
市民文化会館の充実	2億4,889万円
文化活動の充実	685万円

青少年の育成	
活動の場の整備・充実	1,864万円
野外活動施設の整備・充実	2,408万円

スポーツ・レクリエーションの振興	
スポーツ施設の整備・充実	4億7,169万円

都市環境

公園・広場の充実	
公園施設の充実	2億1,071万円
管理運営の充実	1億3,280万円

道路網の整備	
生活道路の整備	7,371万円
バリアフリー化の推進	4億8,020万円

下水道・河川の整備	
管理体制の充実	5,405万円

地域環境の充実	
緑地の確保	4,435万円
市営住宅の整備	1億827万円

廃棄物対策の推進	
処理体制の充実	12億5,908万円
資源物有効利用の促進	4億7,125万円

防災対策の推進	
情報収集・伝達体制の確立	5,052万円
災害対策の推進	5,073万円

消防活動拠点などの整備	1億3,573万円
-------------	-----------

救急体制の充実	3,668万円
消防団の充実	6,597万円

防犯体制の充実	
防犯機器の整備	2,213万円

交通安全対策の推進	
交通安全施設の整備	3,233万円
交通環境の整備	1,700万円

産業

都市農業の振興	
生産基盤整備の推進	2,746万円

商業の振興	
商業活動の支援	989万円
経営安定の支援	1,915万円

工業の振興	
中小企業の育成	6,026万円
勤労者福祉の向上	
生活安定対策の推進	1億4,421万円

市民活動

コミュニティ活動の推進	
コミュニティセンターの整備	2億2,255万円
コミュニティ施設管理運営の支援	7,771万円

市民参加の推進	
広報の充実	2,582万円

その他

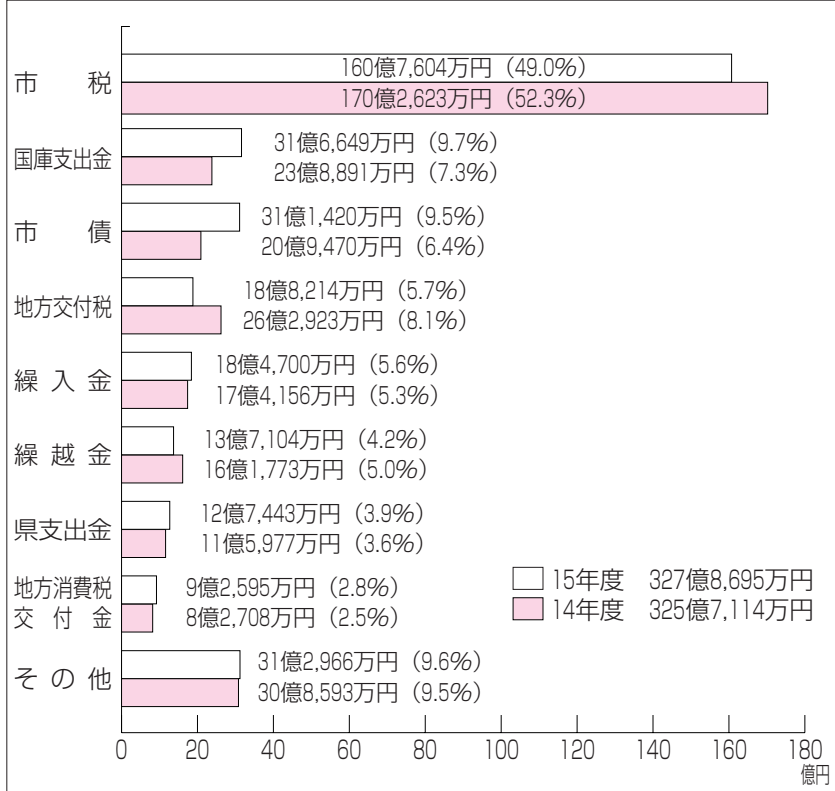
行政機能の充実	
合理的な執行体制の確立（住民基本台帳ネットワークシステム事業費、行政評価システム推進事業費など）	6億9,884万円

【表1】 平成15年度歳入（収入）・歳出（支出）決算額

	歳入（収入）	歳出（支出）
一般会計	327億8,695万円	317億7,675万円
国民健康保険事業特別会計	98億2,048万円	95億927万円
老人保健特別会計	59億8,448万円	59億5,328万円
公共下水道事業特別会計	44億5,493万円	43億2,437万円
介護保険事業特別会計	30億9,457万円	30億168万円
水道事業会計	21億9,430万円	25億6,924万円
総計	583億3,571万円	571億3,459万円

一般会計の歳入を市民一人当たりに換算すると 258,413円

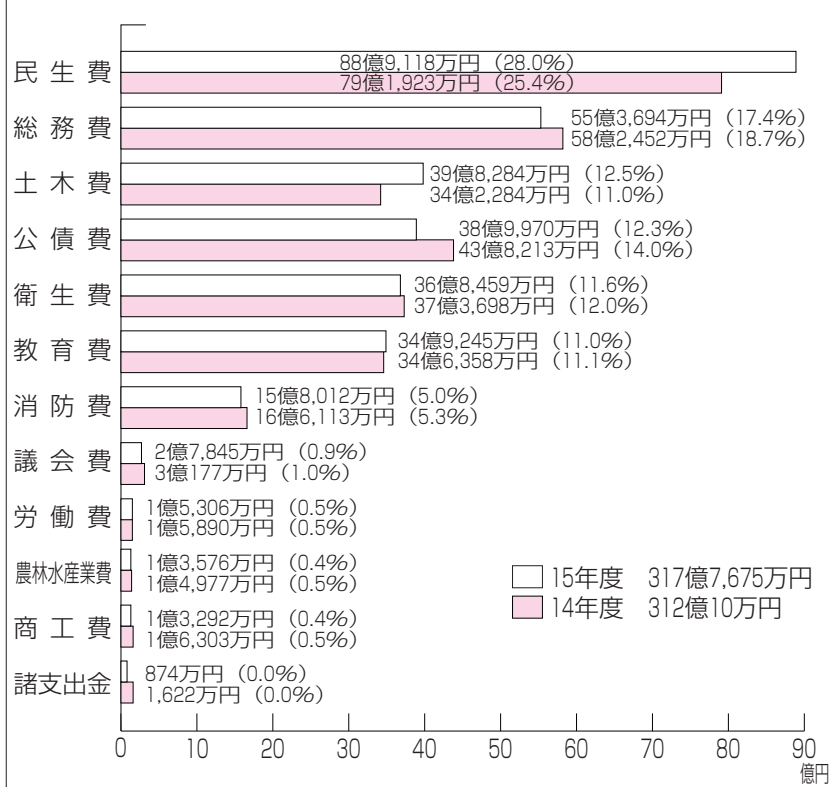
【グラフ1】 目的別歳入構成比



用語解説（支出関係）

市税	市民税や固定資産税などの市に納められた税金	県支出金	県から交付される補助金や負担金など
国庫支出金	国から交付される補助金や負担金など	地方消費税交付金	県に収められた地方消費税の2分の1に相当する額を、市町村の人口および従業員数で案分して、各市町村に交付されるお金
市債	公共施設の整備などをするときに借りる市の借金	自主財源	市が自主的に収入できる財源
地方交付税	国税として納められた後、地方公共団体の財政需要により配分される税金	依存財源	国・県の意思により定められた額が交付される交付金、補助金などの財源
繰入金	積み立てられた資金などから引き出したお金		
繰越金	前年度から繰り越したお金		

【グラフ2】 目的別歳出構成比



用語解説（歳出関係）

民生費	高齢者や障害者への生活支援、保育所の運営など福祉のための経費	議会費	市議会を運営するための経費
総務費	住民登録、選挙、交通安全対策、環境対策などの経費	労働費	労働に関する問題対策のための経費
土木費	道路、河川、公園などの整備のための経費	農林水産業費	農業・林業・水産業の振興を図るための経費
公債費	市の借金の元金と利子を支払うための経費	商工費	商業・工業の振興を図るための経費
衛生費	ごみ処理や市民の健康の維持、増進などに必要な事業のための経費	消費的経費	支出の効果が当該年度またはきわめて短期間で支われる経費
教育費	小・中学校での教育、生涯学習などの経費	投資的経費	支出の効果が資本形成に向けられ、施設などが将来に残る経費
消防費	消防、救急活動、防災など市民の安全を守るための経費		

平成15年度決算

市では、市の財政がどのように運営され、どのような状況になっているのかを市民の皆さんに広く知っていただくために、財政状況を公表しています。今回は、平成十八年十二月市議会で認定された平成十五年年度の決算の概要についてお知らせします。

平成十五年年度決算

財政課 046(252)8404 046(255)3550

市の会計は、行政運営のための基本的な会計である一般会計のほか、各種サービスの提供から得られる料金などの対価によって支出を賄う四つの特別会計と、

歳入と歳出

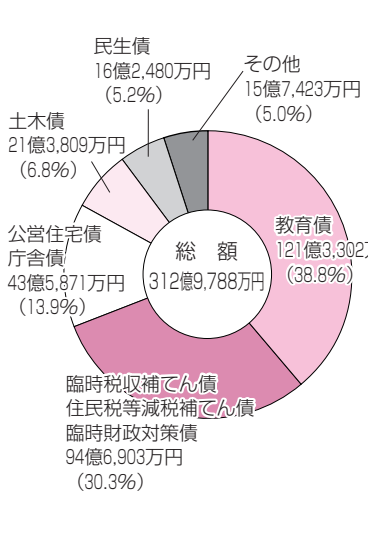
一般会計の歳入総額は三百二十七億八千六百九十五万円で、前年度に比べて二億一千五百八十一万円（〇・七パーセント）増加しました。歳出総額は三百

一般会計

地方公営企業法の適用を受ける水道事業会計に分かれています。それぞれの歳入・歳出額は表1のとおりで、それらを合計した平成十五年年度の市の歳入総額は五百八十三億三千五百七十一万円、歳出総額は五百七十一億三千四百五十九万九千九百九十九円（〇・七パーセント）増加しました。歳出総額は三百

平成15年度決算概要
市財政状況のお知らせ

【グラフ3】 平成15年度末 一般会計市債残高



財産と負債

九〇・四パーセントで、依然高い数値となっています。なお、歳入と歳出について詳しくはグラフ1・2、表2・3のとおりです。

【表4】 市の財産

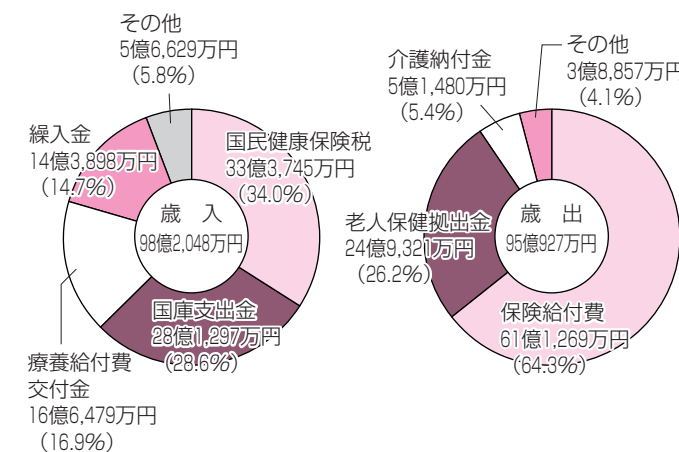
	平成14年度	平成15年度
土地	838,629㎡	867,219㎡
建物	252,352㎡	253,040㎡
基金	28億7,162万円	24億2,427万円
有価証券など	2億4,945万円	2億5,492万円

【表5】 市の負債

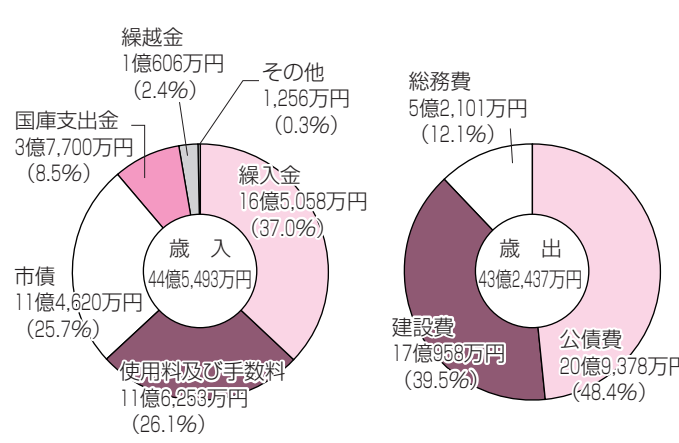
	平成14年度	平成15年度
市（一般会計）	310億291万円	312億9,788万円
市（公営住宅事業特別会計）	275億9,969万円	277億3,328万円
土地開発公社	12億9,041万円	11億5,585万円
合 計	598億9,301万円	601億8,701万円

百九十七万円増えました。市債全体の三八・八パーセントは、教育債が占めています。市の負債と財産について詳しくはグラフ3、表4・5のとおりです。

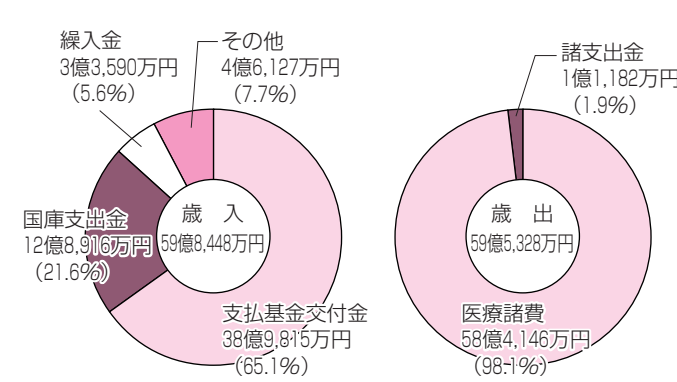
【グラフ4】 国民健康保険事業



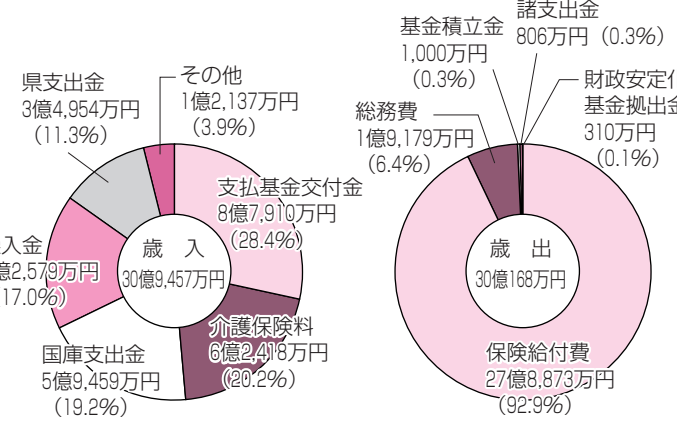
【グラフ6】 公共下水道事業



【グラフ5】 老人保健



【グラフ7】 介護保険事業



バランスシートで分かる市の財政状況

市では、市の財政状況を市民の皆さんにより分かりやすくお知らせするとともに、効率的かつ自立した市政運営に役立てるため、バランスシート（貸借対照表）を作成しています。

ここでは、平成十五年度の市の財政状況について、このバランスシートを使ってお知らせします。

担当 財政課 電話 046(252)8404 FAX 046(255)3550

バランスシートとは

市では、バランスシート（表1参照）を作成している。

ます。バランスシートとは「ある一定時点における市の財政状況を表す表」です。表の左側（借方）を「資産の部」とし、市にはどれだ

載しています。また、表の右側（貸方）には、将来に向けて支払いや返済の必要のあるものを「負債の部」、既に支払いの済んでいるものを「正味資産の部」に分け、資産の形成の源となった資金を記載しています。なお、負債と正味資産を足した額は、資産の額と等しくなっています。

バランスシートには、現在の市の会計にはない減価償却という考え方が取り入れられています。有形固定資産（土地以外の固定資産である建物や道路など）は、使用または時の経過によつてその経済価値が減耗します。この経済価値の減耗は継続的に発生しますが、減価償却の手続きによつて費

用としてその額を表すことができます。

これらのことからバランスシートは、中・長期的な視点でのより正確な費用や物の価値の変動についても把握することができま

す。例えば、これまでに道路や学校などの整備にどれだけのお金を使つて、どれだけの資産が蓄積されているのか、また、整備するための資金として使われた負債が、現在どれだけあるのかなどが分かるようになって

います。なお、バランスシートの作成に当たっては、総務省が示したガイドラインに基づき作成しています（左記参照）。また、バランスシートの欄外には注記として、債務負担行為に関する情報

の一部分が表示されています。これは、債務が不確定であるなどの理由により、バランスシート内の債務負担行為としてではなく欄外に表示するものです。

平成十五年度決算の概要

資産

市の資産は、約千百五億六千三百万円です。その内訳は、道路や学校などの有形固定資産が約千五十一億三千八百万円で、資産全体の約九五・一パーセントを占めます。このほか基金などの投資などが約十三億九千百万円で約一・三パーセント、現金や預金などの流動資産が約四十億三千四百

万円で約三・六パーセントを占めます。その内訳は、

負債

市の負債は約三百九十億五千百万円です。その内訳は、地方債（翌々年度以降償還額）や職員の退職給与引当金などの固定負債が約三百二億六千万円で、負債全体の約七七・五パーセント、流動負債（地方債の翌年度償還予定額）が約八十七億九千万円で、約二・五パーセントです。

なお、市の負債を市民一人当たりには換算すると八十六万円になります。

正味資産

資産から負債を差し引いた正味資産は、約七百十五億一千二百万円で、資産全体の約六四・七パーセントを占めます。

社会資本形成の世代別負担比率

①現世代負担済比率 これまでの世代によつて既に負担された資産の部分の割合が分かれます。約六八パーセントです（表2参照）。②将来世代負担比率 これからの世代によつて負担しなければならない負債の割合が分かれます。約三七・一パーセントです（表3参照）。

歳入総額対資産比率

資産形成に何年分の歳入が充てられてきたかが分かれます。約三・二年分です。

有形固定資産の行政目的別割合

これまで形成されてきた資産の目的別の割合が分かれます。最も比率が高いのは教育費で約四六・三パーセント、次が土木費で約二九・二パーセントです（表4参照）。

【表1】 バランスシート (平成16年3月31日現在) (単位:千円)

借 方		貸 方	
【資産の部】		【負債の部】	
1.有形固定資産		1.固定負債	
(1) 総 務 費	17,238,719	(1) 地 方 債	22,506,844
(2) 民 生 費	4,950,852	(2) 債務負担行為	
(3) 衛 生 費	1,973,678	①物件の購入	0
(4) 労 働 費	1,386	②債務保証又は損失補償	
(5) 農林水産業費	286,458	債務負担行為計	0
(6) 商 工 費	12,746	(3) 退職給与引当金	7,753,024
(7) 土 木 費	30,733,363	固定負債合計	30,259,868
(8) 消 防 費	1,289,615		
(9) 教 育 費	48,647,160	2.流動負債	
(10) そ の 他	4,133	(1) 翌年度償還予定額	8,791,031
計	105,138,110	(2) 翌年度繰上充用金	0
(うち土地)	(40,348,140)	流動負債合計	8,791,031
有形固定資産合計	105,138,110	負債合計	39,050,899
2.投資等		【正味資産の部】	
(1) 投資及び出資金	774,266	1. 国庫支出金	10,848,449
(2) 貸 付 金	8,083	2. 都道府県支出金	1,811,127
(3) 基 金		3. 一般財源等	58,853,012
①特定目的基金	598,874	正味資産合計	71,512,588
②土地開発基金	0		
③定額運用基金	10,000	負債・正味資産合計	110,563,487
基金計	608,874		
(4) 退職手当組合積立金			
投資等合計	1,391,223		
3.流動資産			
(1) 現金・預金			
①財政調整基金	1,634,027		
②減債基金	0		
③歳計現金	1,010,193		
現金・預金計	2,644,220		
(2) 未 収 金			
①地 方 税	1,284,416		
②そ の 他	105,518		
未収金計	1,389,934		
流動資金合計	4,034,154		
資産合計	110,563,487		

債務保証または損失補償に係るもの 3,579,919千円

総務省のガイドラインに基づく作成の前提条件

- 対象は一般会計とし、国民健康保険事業などの特別会計は含みません。
- 基礎数値は、昭和44年度以降の決算統計データを用いています。
- 資産の評価は、原則として取得原価主義（支出の事実に基づくもの）を採用しています。
- 有形固定資産の評価は、普通建設事業費をもって取得価格としています。
- 減価償却の方法については、土地を除き国が示した耐用年数に従い、残存価格をゼロとする定額法によっています。
- 負債の退職給与引当金に、一般会計職員全員（特別職を含む。）が年度末に普通退職したことを想定した退職手当支給額を引当金に計上しています。
- 債務負担行為に関する情報における債務保証または損失補償に係るものに記載した数値は、一般会計において土地開発公社に対する債務保証限度額を示し、実債務保証額とは異なります。

【表2】 現世代負担済比率

区 分	平成15年度	平成14年度	増減額
正味資産（百万円）	71,512	71,347	165
有形固定資産（百万円）	105,138	105,860	△722
現世代負担済比率（％）	68.0	67.4	0.6

【表3】 将来世代負担比率

区 分	平成15年度	平成14年度	増減額
負債（百万円）	39,051	40,760	△1,709
有形固定資産（百万円）	105,138	105,860	△722
将来世代負担比率（％）	37.1	38.5	△1.4

【表4】 行政目的別割合（上位5位）

教育費	土木費	総務費	民生費	衛生費
46.3	29.2	16.4	4.7	1.9



みんなの健康



担当 市民健康課 保健係 ☎046 (252) 7225 予防・医療係 ☎046 (252) 7213 リハビリ係 ☎046 (252) 7317 046 (252) 7043

なかよしベビークラス 保

▽とき＝平成17年1月13日(木) 午前10時～11時30分
▽ところ＝市民健康センター▽内容＝新しい友達をつくりたい保護者のための教室。赤ちゃんと一緒に遊ぶ▽対象＝生後3カ月～4カ月児とその保護者▽定員＝先着30人▽持ち物＝母子健康手帳、バスタオル▽申込方法＝電話予約

やさしい体操教室

- とき 平成17年1月17日(月) 午後1時30分～3時
○ところ 市民健康センター
○内容 簡単な体操による消費カロリーと体脂肪との関係から、自分に合った運動計画を立てる
○講師 健康運動指導士
○対象 40歳以上
○参加費 無料
○持ち物 筆記用具、健康手帳(お持ちでない方には当日発行します)、電卓
○申込方法 1月14日(金)までに電話で担当へ
担当 市民健康課
☎046 (252) 7225 FAX 046 (252) 7043

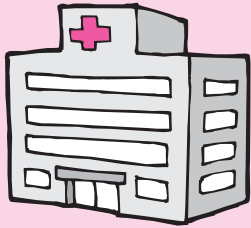


不妊治療費の助成制度が始まりました

県では、平成16年10月1日以降に県の指定する医療機関で、特定不妊治療(体外受精および顕微授精)による不妊治療を受けた夫婦を対象に、治療費を助成しています。

- 所得制限 前年の夫婦合算の給与所得が650万円未満
○給付限度額 1年度当たり10万円(通算2年支給)
○申請方法 厚木保健福祉事務所および担当で配布している申請書に必要事項を記入の上、直接厚木保健福祉事務所へ。また、申請書は県地域保健課ホームページ(<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/tiikihoken/oshirase.htm>)からダウンロードできます。
○問い合わせ先 県地域保健課保健指導班 ☎045 (210) 1111 内線5066

担当 市民健康課
☎046 (252) 7225 FAX 046 (252) 7043



赤ちゃん教室 保

▽とき＝平成17年1月20日(木) 午前10時～11時30分▽ところ＝市民健康センター▽内容＝離乳食の作り方・すすめ方、子どもの発達や予防接種について▽対象＝生後5カ月～6カ月児とその保護者▽定員＝先着30人▽持ち物＝母子健康手帳、離乳食用スプーン▽申込方法＝電話予約

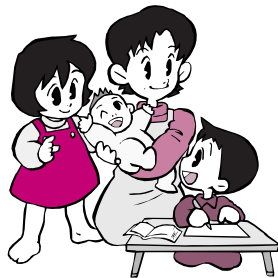


育児相談 保

▽とき＝平成17年1月14日(金) 午前9時30分～10時30分受け付け▽ところ＝東地区文化センター▽内容＝身体測定と食事・発育状態・しつけの相談▽持ち物＝母子健康手帳▽申込方法＝直接会場へ

発達相談 リ

▽とき＝平成17年1月7日(金) 午前9時～正午▽ところ＝市民健康センター▽内容＝乳幼児期の運動発達面での心配についての理学療法士による相談▽対象＝生後4カ月～1歳6カ月児▽申込方法＝電話予約



救急診療

※電話をかける場合は番号をお確かめの上、お間違えないように！

予

◆休日昼間

診療科目	電話番号	診療場所	受付時間
小児科	☎046 (255) 9933	休日急患センター (市民健康センター1階)	午前9時～11時45分、午後2時～4時45分
内科	☎046 (252) 9090		午前9時～11時45分、午後2時～4時30分
歯科	☎046 (252) 8217		午前9時～11時30分、午後1時30分～4時30分
耳鼻咽喉科	☎042 (756) 9000	相模原南メディカルセンター(相模原市相模大野)	午前9時～11時30分、午後1時30分～4時30分
外科・婦人科・眼科	☎046 (251) 0119	消防テレホンサービス(左記)でご確認ください。	午前9時～正午、午後2時～5時(診療時間)

◆夜間

診療科目	電話番号	診療場所	受付時間
小児科	☎046 (255) 9933	休日急患センター (市民健康センター1階)	月曜～金曜日：午後7時～9時45分 土曜・日曜日、祝日：午後6時～9時45分
内科	☎046 (252) 9090		午後6時～10時(診療時間)
外科	☎046 (251) 0119		午後6時～10時(診療時間)

◆深夜

診療科目	電話番号	診療場所	診療時間
小児科	☎046 (255) 9933	小児救急情報センター(左記)でご確認ください。	午後10時～翌朝午前7時(重病の場合は午前8時)
内科・外科	☎046 (251) 0119	消防テレホンサービス(左記)でご確認ください。	午後10時～翌朝午前8時

※聴覚障害者専用問い合わせ先 ☎046 (251) 5263

保健福祉事務所からのお知らせ

問い合わせ先 厚木保健福祉事務所 ☎046 (224) 1111

医療関係者は届け出を

12月31日現在で次に該当する医療関係者は、保健福祉事務所への届け出が必要です。なお、用紙は保健福祉事務所配布中です。
▽対象＝①医療関係職に従事している医師、歯科医師、

みんなの広場

○チャリティー慰問活動報告会「世代を越えて広げよう福祉の輪」

▽とき＝十二月二十六日(日) 正午開演(午前十一時三十分開場)▽ところ＝ハートモニーホール座間(市民文化会館)小ホール▽内容＝第一部(琴、津軽三味線、日舞、箏、演歌)、第二部(吹奏楽、パントマイム、シャンソン、バレエ、ピアノ独奏、ソプラノ独唱ほか)▽入場料＝三百円(未就学児無料)※当日、受け付けに入場券あり▽その他＝小銭募金にご協力を▽問い合わせ先＝サークル「かがやき」☎046 (253) 2536(加賀谷)

○アクティブ・ママクリスマス会

▽とき＝十二月十七日(金) 午前10時～▽ところ＝市公民館▽対象＝未就学児とその家族▽参加費＝三百円▽問い合わせ先＝☎046 (256) 0695(勅使河原)

○国際親善中学・高校生ドッジボール&餅つき大会

▽とき＝平成十七年一月二十二日(土) 午前10時～午後二時▽ところ＝日産自動車(株)座間事業所体育館▽対象＝市内在住・在学の中学・高校生▽定員＝二十人(多数抽選)▽参加費＝無料▽申込方法＝十二月二十日～平成十七年一月七日の月曜・水曜・金曜日の午前九時～午後四時に電話・ファクスで市国際交流協会 ☎046 (251) 9000へ

○クロール上達教室

▽とき＝平成十七年一月十四日、二十一日、二十八日いずれも金曜日①午前10時三十分～正午②午後三時三十分～五時▽ところ＝高座施設組合屋内温水プール▽対象＝高校生以上で十メートル以上泳げ、クロール泳法をマスターしたい方(三日間参加できる方)▽定員＝①②各三十人(多数抽選)▽参加費＝一回四百円(施設使用料)▽申込方法＝往復はがきに氏名、年齢、住所、電話番号、希望する教室の時間帯、「クロール上達教室希望」と明記の上、平成十七年一月四日(火)必着で〒243-10417海老名市本郷二ノ一高座施設組合屋内温水プールあて郵送▽問い合わせ先＝同プール ☎046 (238) 8780

○放送大学四月入学学部生、大学院(修士・選科生・修士科目生)募集

放送大学は、テレビ(UHF)、ラジオ(FM)、CDデジタル放送、ケーブルテレビを通じて、自宅で学習できる正規の大学です。十五歳以上の方なら学部の選科・科目履修生として、十八歳以上の方なら学部の全科履修生、大学院の修士・選科生・修士科目生として入学できます。一科目からでも学ぶことができます。▽出願期間＝平成十七年二月二十八日(月)まで▽入学料＝六千円▽二万二千円▽授業料＝一単位五千円▽一万円▽募集要項請求先＝〒232-10061横浜南区大岡二ノ三ノ一放送大学神奈川学習センター ☎045 (710) 1910



【座間市のお知らせ】

12.15

◆平成16年(2004年) 12月15日発行
◆座間市企画部市民情報課編集
〒228-8566 神奈川県座間市緑ヶ丘1-1-1
☎046(255)1111(代) ☎046(255)3550
URL: http://www.city.zama.kanagawa.jp/
☎: http://www.city.zama.kanagawa.jp/m/

青少年健全育成大会

中学生の主張作文コンクール入賞者と善行ほう賞受賞者を表彰

市青少年問題協議会の主催による「第28回青少年健全育成大会」が、去る11月27日、ハーモニーホール座間において開催されました。

この大会は、次代を担う青少年が心身共にたくましく成長することのできる地域社会づくりを推進することが大きな目的です。当日会場では、中学生の主張作文コンクール入賞者と善行ほう賞受賞者が表彰されました。表彰を受けたのは次の皆さんです。(敬称略)

《中学生の主張作文コンクール》

☆最優秀賞 「私が大人に望むこと…勇気を持って正しい道を」尾方けい(栗原中1年)

☆優秀賞 ▽「私が社会や他人のためにできること…ぼくにできること」前田敬太(西中2年) ▽「わたしの学校生活」岡村彩加(西中3年) ▽「命を考える…命が教えてくれた事」田嶋理沙(西中3年) ▽「命を考える…幸せ」西田遥(東中2年) ▽「私が社会や他人のためにできること…心の壁をこえたボランティア」石垣優子(東中3年) ▽「命を考える…一人のものではない命」西部実幸(栗原中3年)

《善行ほう賞》

☆南中学校生徒一同 ▽内容＝長年にわたり、地域ふれあい美化清掃活動の一環として、地域の方々と協力し、環境美化のために地域清掃を続けた。

☆深澤准 ▽内容＝不登校生徒の学習支援を週2～3回ボランティアで行った。

☆白井元希、東出祐太郎、藤原桂、藤本凌輔、伊藤健太 ▽内容＝座間中学校の5人の生徒は、近くの公園付近の路上で、自転車から転倒し頭部に怪我をしていた小学生に対し、いち早く学校や親に連絡するとともに、止血などの応急手当をした。

担当 青少年課 ☎046(253)8415 ☎046(259)2163

青少年センター学習室を開放します！

年末から春休みにかけて、児童・生徒・学生などの青少年を対象に青少年センター3階会議室を学習室として開放します。

○とき 12月25日(土)～平成17年3月末
午前9時～午後9時

○ところ 同センター3階会議室

担当 青少年センター ☎046(253)8411 ☎046(259)2163

新成人おめでとう！ 成人式は1月10日に

○とき 平成17年1月10日(月)
午前11時～正午(午前10時～受け付け)

○ところ ハーモニーホール座間
(市民文化会館)大ホール

○対象 昭和59年4月2日から
昭和60年4月1日までに生まれた方

○参加方法 既に送付済みの入場券を持参の上、当日直接会場へ
※案内状が届いていない方は、担当にお問い合わせください。

担当 青少年課
☎046(253)8415 ☎046(259)2163

決議書

昨年、米大統領は世界的規模での米軍再編への考えを表明した。それ以来、米陸軍第一軍団司令部等がキャンプ座間へ移転されるとの報道が頻繁になされ、市民の不安は募るばかりである。

このことについて、当市は相模原市と共に、国に対し、的確な情報を求め、基地強化は反対である旨、重ねて要請してきた。また、市議会としても本移転に反対を表明する決議書を国に提出したところである。

その後も、何らの情報も伝えられず、更には11月4日付け、神奈川県知事より外務大臣に宛てられた米軍再編に関する地元への情報提供等についての照会に対する回答でも、関係自治体等への説明責任を果たし、適切な時期において然るべき説明をさせていただきたいと示されている。

このことは、すでに米国と日本政府間で協議が進められ、移転への既成事実化と考えられ、到底容認することはできない。

また、国として地元自治体等に対し、説明責任を果たすといえども、適切な時期を逸することに強い懸念を持つものである。

米陸軍第一軍団司令部等のキャンプ座間への移転は基地機能の強化・恒久化につながり、当市が求めている基地返還に全く逆行することとなる。

よって、市・議会・自治会連絡協議会が市民と一体となって、米陸軍第一軍団司令部等のキャンプ座間への移転に反対することをここに決議する。

平成16年11月16日

キャンプ座間米陸軍第一軍団司令部等移転に伴う基地強化に反対する座間市連絡協議会

交通事故の撲滅を願う 「交通安全推進大会」が盛大に

交通安全対策協議会主催による「交通安全推進大会」が、去る十一月二十日、ハーモニーホール座間において盛大に開催されました。

当日は、関係団体など約三百人が参加。交通事故の犠牲者に黙とうをささげた後、交通安全功労者と交通安全ボスターおよび交通安全標語の入賞者が表彰されました。表彰を受けたのは次の皆さんです。(敬称略)

交通安全功労表彰
▽加藤正市(四ツ谷) ▽多嶋田一男(入谷一丁目) ▽齊藤義尊(入谷三丁目) ▽石澤徳治(入谷三丁目) ▽杉山静男(緑ヶ丘五丁目) ▽八木伸(相武台一丁目) ▽面田和利(緑ヶ丘二丁目) ▽加藤豊(栗原) ▽和田友作(広野台一丁目) ▽小林晴雄(相模が丘四丁目) ▽内田幸男(相模が丘二丁目) ▽蠅庭孝之(相模が丘六丁目) ▽楠隆圭(相模が丘四丁目) ▽瀬川清光(小松原二丁目) ▽境誠(東原一丁目) ▽高橋福藏(東原四丁目) ▽有賀政男(南栗原六丁目) ▽大矢文昭(栗原中

田未来(入谷小六年) ▽中学生の部Ⅱ大谷香織(栗原中一年)
【交通安全功労感謝】
▽村田岳生(緑ヶ丘六丁目) ▽株式会社厚木自動車学校(海老名市河原口) ▽座間市自動車整備業組合(相模が丘六丁目) ▽社団法人大和法人会(大和市中央) ▽日産自動車株式会社座間事業所(広野台二丁目) ▽社団法人神奈川県トラック協会相模支部(愛川町中津) 【交通安全ボスターコンクール】
☆最優秀賞 小西由真(栗原小六年)
☆優秀賞 ▽小学生低学年の部Ⅱ西川友里(相武台東小二) ▽小学生中学年の部Ⅱ吉田瑞季(中原小四年) ▽小学生高学年の部Ⅱ三浦あずさ(座間小六年)、正

☆優秀賞 布施美咲(相模野小六年)、武部康介(栗原中一年)、山本美津江(一般、入谷五丁目)
☆佳作 関口遼征(座間小一年)、武部雛子(立野台小二年)、本多祐樹(座間小三年)、布施勇気(相模野小四年)、山本悠介(座間小六年)、木下慶祐(栗原小五年)、渡邊桃子(旭小五年)、山本隆一(一般、入谷五丁目)、鳥飼賢一(一般、入谷四丁目)、高山友三(一般、相武台一丁目)

小泉首相らあてに基地強化反対決議書を提出 市役所および大坂台公園に懸垂幕を掲揚



去る11月16日、キャンプ座間への米陸軍第一軍団司令部等移転問題について、市、市議会、市自治会連絡協議会の三者が集い「キャンプ座間米陸軍第一軍団司令部等移転に伴う基地強化に反対する座間市連絡協議会」(会長 星野勝司市長)を設立しました。同協議会では11月19日、政府各省庁に出向き、協議会設立時に決定した第一軍団司令部等移転反対についての決議書(左記参照)を、小泉首相、内閣官房長官、外務大臣、防衛庁長官あてに提出しました。このことについて防衛庁からは「今、詳しいことはお話できないが、市民と一体となった協議会の決議書については、しっかりと受け止めて、長官に申し上げる。適切な時期に説明責任を果たしていきたい」との回答がありました。また、ほかの省庁の回答も同様でした。

11月24日には、「キャンプ座間への米陸軍第一軍団等の移転反対」と記した懸垂幕を、市役所正面玄関脇時計塔および大坂台公園の時計塔に掲揚しました。同協議会では、これから的確な情報を収集し、市民の皆さんに随時お伝えしていきます。

担当 渉外課
☎046(252)8307 ☎046(255)3550